

蓮華文鬼瓦、四葉蓮華文鏡瓦、花枝文字瓦

蓮華文鬼瓦




四葉蓮華文鏡瓦



花枝文字瓦



指定区分	国指定重要文化財(考古資料)
読みかた	れんげもんおにがわら しょうれんげもん あぶみがわら かしものきがわら
所在地	倉敷市真備町箭田 吉備寺
指定年月日	昭和37年6月21日
解説	現在の吉備寺一帯にあった箭田廃寺跡から出土した瓦。(1)蓮華文鬼瓦:高さ約33cm、灰青色。白鳳時代。(2)四葉蓮華文鏡瓦:全長約38cm、奈良時代の軒丸瓦。新羅の影響を受けたと考えられる(3)花枝文字瓦:全長約38cm、奈良時代の軒平瓦。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分/路面電車「城下」下車徒歩約10分/岡電バス「後樂園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	駐車場は岡山後樂園駐車場を利用。 
備考	

きつずページ

蓮華文鬼瓦



四葉蓮華文鏡瓦



花枝文字瓦



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(考古資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	蓮華文鬼瓦、四葉蓮華文鏡瓦、花枝文字瓦
よみかた	れんげもんおにがわら しょうれんげもん あぶみがわら かしものきがわら
しょざいち (所在地)	倉敷市真備町箭田 吉備寺
していつひ (指定した日)	昭和37年6月21日
せつめい	今の吉備寺(きびじ)のあたりにあった寺(てら)の跡(あと)からいろんな瓦(かわら)が発掘(はっくつ)されたものです。奈良時代(ならじだい)あたりのもと考えられています。岡山県立博物館(おかやまけんりつはくぶつかん)で保管(ほかん)されています。